

ちばしょうぞう 千葉県三記念館だより

令和6年3月31日 第3号

【発行者】千葉県三記念館管理運営協議会 鹿沼市楡木町 1080 南押原コミュニティーセンター内

千葉県三記念館だよりをご覧のみなさまへ



東武日光線の電車が「楡木駅」を通過するたびに、車窓から「千葉県三記念館」の看板が目に入ります。一度下車して、この記念館を見学してみたいと思っていた方のご家族が、観光地日光を訪れたその帰り道に記念館へいらっしゃいました。父親は車で、母親と子どもは電車で楡木駅で下車、「千葉県三記念館」で待ち合わせて、見学に来たといいます。

「千葉県三記念館」は、南押原コミュニティーセンターに付随しており、落成から9年目でまだ真新しい建物です。千葉県三の児童文学者としての一生の様子、小説の題材となった場所、生活用品等が展示された館内。「バアちゃん家にあったよ」と指さす子ども、両親とも熱心に見学して行かれました。地域の文化発展の拠点として建てられた記念館、うれしく思えました。

千葉県三記念館管理運営協議会 会長 鈴木 節也

千葉県三についての思い出

その日は朝から学校全体に、緊張感が漂っていたような気がします。「童話作家の千葉県三が、楡木小学校に来る!!」今思えばこれが、私と千葉県三さんの最初の出会いでした。私が6年生の時の出来事です。学級文庫に本はあったもののアンデルセン童話が好きだった私は、方言が沢山出てくるお話にはあまり食指が動きませんでした。

一緒に来られた方々のお話が終わり、いよいよご本人の登場です。残念ながらお話の内容は全く記憶に残っておらず、ただただ「静かでやさしそうなおじいちゃん」という印象でした。記念館に展示してある写真はその時の物で、見るたびに懐かしく思い出されます。

今はお話会などで色々なお話を上演させていただいて、あの頃は思いもしなかったけれど、ご縁が繋がっていたのかしらと思います。

これからも生き生きとした子供達が遊びまわっている千葉文学を、読み繋げていければと思っています。



KLV 小室 朱実 さん

来館者のみなさまからー



大学で観光まちづくりを学ぶ予定の高校3年生です。たまたま楡木駅周辺をいたら、千葉県三の記念館があったので、訪問させていただきました。(中略) 児童文学に大きな功績をのこされた省三は、すごいなと思いました。

児童文学 News

「魔女の宅急便」でお馴染みの童話作家^{かどのえいこ}角野栄子さんの作品を紹介する江戸川区角野栄子児童文学館が令和5年11月に東京都江戸川区にオープン！！この文学館は、子どもたちが自由に「本」と親しんだり、イベントや体験を通して、子どもたちの想像力と創造力を育むことを目的にしているそうです。機会があれば、ぜひ行ってみたいかがでしょうか。（東京都江戸川区西葛西7-3-1）



さて、千葉県三の童話で魔法に近いものといえば、『チックタック』（後に『チックとタック』に改題）がありますね。これはボンボン時計になかに住んでいるチックとタックといういたずら好きな子どものお話。そんな2人が台所のあった辛い食べものを口に入れてしまったとたん…。千葉県三の童話をこれから楽しみたいという方へおすすめの一冊です。

千葉県三の世界をもっと楽しもう！



毎月、第3日曜日（家庭の日）の午前11時から記念館学習室で楡木小KLV、みなみ小KLV、南押原小KLVの皆さんによるおはなし会を開催しています。

千葉県三の童話の世界を影絵、紙芝居などで紹介し、子どもから大人まで楽しんでいただいています。素敵な絵と言葉で千葉県三の世界をもっと楽しんでみましょう！

★お子さんには、オリジナルカードをお作りしています。

たくさん会に参加してわんわんスタンプをどんどん押ししてもらいましょう！

千葉県三記念館を応援してくださる方を募集しています！



千葉県三記念館は、千葉県三記念館管理運営協議会の皆さんが管理やイベントなどを運営しており、随時会員を募集しています。

ぜひ、記念館を中心とした地域の街づくりに物心両面から応援していただきたく、ご加入をお願いします。

個人会員	1口	1,000円
法人・団体会員	1口	5,000円

【問い合わせ先】千葉県三記念館管理運営協議会事務局（文化課内）

TEL.65-6741 FAX.65-6742 Email.bunka@city.kanuma.lg.jp

<協議会役員の皆さん>

会長：鈴木 節也 副会長：善林 栄 副会長：小室 朱実 会計：生澤 靖子
庶務：須田 陽子 監事：秋澤 久 監事：福島 隆男